

コースA「国際契約の基礎」講座

— 国際法務従事者に必須の法律知識 —

主催：一般社団法人GBL研究所 後援：Business Law Journal

グローバル化に伴い、英文契約書（国際契約）の利用が増加しております。英文契約書を理解し、作成するためには、英米法の理解の有無を問わず、国際契約の基本的な構成や各条項の意味合いを理解することが、非常に重要なこととなってきております。

本講座では、「入門コース」として、新任法務部員や新任国際営業担当者など、これまでに英文国際契約を取り扱ったことがない人に英文契約に取り組む初歩的なベースを提供する全3回のコースを用意しています。そして、「基礎コース」では、国際的な取引紛争を未然に防ぐという予防法務の観点から、国際取引から発生するリスク、特に法的問題を抽出し、それへの対応策を考えるという法的分析力の養成、国際契約の交渉から国際契約の履行、契約違反・損害賠償といった国際契約全般にわたる問題を取り上げ、国際契約書の検討・作成能力を育成することを目的としています。契約書のドラフトを意識し、国際売買契約から各種ライセンス契約、資本提携契約といった企業が締結する主要な契約について実践的なドラフトを織り交ぜた研修内容とします。また、本コースでは、ライセンス契約を理解する上で不可欠な、特許権、著作権などの知的財産権の基本的知識の習得にも力を入れています。

■開催期間

2017年 4月27日(木)～8月31日(木) 19:00～21:00
毎週木曜日開催。この期間内で、1回でも数回でも自由に選択できます。

■会場

きゅりあん セミナー会場 (右下地図参照)

〒140-0011 東京都品川区東大井 5-18-1

JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線 大井町駅から徒歩1分

■講師

河村寛治 (社)GBL研究所 代表理事・会長、元伊藤忠商事(株)法務部副参事)

高田 寛 (明治学院大学法学部教授)

阿部博友 (一橋大学大学院教授)

宮田正樹 (二松学舎大学非常勤講師・元・株式会社日本製鋼所法務専門部長)

林 大介 (テンプホールディングス(株) 執行役員チーフ・リーガル・オフィサー・ニューヨーク州弁護士)

杉江 武 (神鋼商事(株)法務審査部長)

増田好剛 (弁護士・ジョーンズ・デイ法律事務所カウンセラー)

向山純子 (日本アバイア(株) 取締役法務部長・弁理士・ニューヨーク州弁護士)

その他実務経験豊富な講師陣

■受講料

1回あたり：10,000円(資料代含む・消費税込み)例えば、3回出席する場合は30,000円。なお、全16回出席する場合については、130,000円(割引価格)となります。企業単位で申込み、毎回違う方が受講することも可能です。

■定員

14名(先着順) 定員になり次第、締切らせていただきます。

なお、最小催行人数に満たない場合等、事情により中止になる場合がございます。

お申し込み方法

メール order@gbli.or.jp にてセミナーの受講をお申し込みください。
お申し込みの確認が出来次第、請求書をお送りいたします。

お問合わせ先

GBLI 一般社団法人 GBL研究所

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎 2-12-1-305

<http://www.gbli.or.jp/> E-mail: info@gbli.or.jp



2017年度 G B L 国際法務研修基礎セミナー

コースA「国際契約の基礎」講座



■コース概要 ※講師については予定であり、都合により変更になることがあります。

◆入門コース◆ (全3回)

《内容》国際契約 (英文契約) に取り組む初歩的な知識の提供

新任法務部員や新任国際営業担当者など、これまでに英文国際契約を取り扱ったことがない人に最適です。このコースを履修後、必要と思う知識を次の「基礎コース」の中から選択し補充されることもご検討ください。

第1回「国際取引契約の概要」(4月27日) (講師:宮田)

- 《項目》
- 契約書の重要性
 - 英文契約書の構造・スタイル
 - 契約交渉の進め方
 - 契約交渉における法的リスク

第2回「国際英文契約の英語と留意点」(5月11日) (講師:高田)

- 国際英文契約の英語の特徴
- 背景にある英米法概念
- 法律英語の留意点

第3回「各種国際取引契約と基本的な留意点」(5月18日) (講師:宮田)

- 国際秘密保持契約
- 国際売買契約
- 国際販売店契約
- 国際ライセンス契約

◆基礎コース◆ (全13回)

国際契約に従事する方に、国際契約の基本的な条項の意味合いを解説し、企業が締結する主要な契約について実践的なドラフトを織り交ぜた研修により、国際契約書の検討・作成という能力を育成することを目的としています。

第1回「契約当事者の責任配分」(5月25日) (講師:高田)

《内容》契約に盛り込まれている救済等に関する規定について

- 《項目》
- 表明 (representation) と保証 (warranty) (権原、品質、知的財産権の不侵害等)
 - ・明示の保証と黙示の保証
 - ・権原の保証
 - ・知的財産権の不侵害の保証
 - ・商品性の保証、特定目的への適合性の保証
 - ・保証の制限
 - 解除
 - ・With Cause, Without Cause
 - 損害賠償
 - ・General Damages, Special Damages
 - ・損害賠償に関する制限
 - ・損害賠償額の予定

第2回「予備的合意書、意向書、覚書、秘密保持契約書」(6月1日)

《内容》本契約締結前に交わす契約について盛り込むべき内容、留意点

- 《項目》
- 予備的合意書
 - ・種類と意義 (Letter of Intent, Memorandum of Understanding, 予備的合意書, 仮合意書, 趣意書)
 - ・予備的合意書等の条項例
 - ・拘束力ある条項、拘束力ない条項
 - 秘密保持契約書 (NDA)
 - ・NDAの正しい理解と使用方法、締結のタイミング
 - ・典型条項例 (和文、英文の一般的な雛形を用いた解説)
 - ・交渉の方法 ・秘密保持契約と情報セキュリティの関係

第3回「一般条項」(6月8日) (講師:林)

《内容》英文契約の主要な一般条項について

- 《項目》
- 一般条項とは何か
 - 代表的な一般条項のポイント解説
 - ・完全合意条項 ・変更条項 ・権利不放棄条項
 - ・契約譲渡禁止条項 ・分離条項 ・通知条項
 - ・不可抗力条項など

第4回「紛争処理条項」(6月15日) (講師:河村)

- 《内容》紛争処理に関する条項と関連法
- 《項目》
- 紛争処理に関する条項とは
 - 国際裁判管轄とは
 - ・国際裁判管轄の決定基準・民事訴訟法改正の概要
 - 国際商事仲裁
 - ・仲裁合意の対象範囲
 - 外国判決・仲裁判断の承認執行問題
 - ・ニューヨーク条約
 - ・国際訴訟競合問題
 - 準拠法の決定基準
 - ・一般的な法則 ・国際条約下での紛争ケース
 - 契約ドラフティングの実務

第5回「国際売買契約のポイント」(6月22日) (講師:宮田)

- 《内容》国際売買契約に関する法やルール、条項と落とし穴
- 《項目》
- 売買契約に定めるべき条項例
 - ウィーン売買契約の取扱と考え方
 - インコタームズの解説
 - 信用状 (L/C) と船積書類の実務

(この日は金曜日)

第6回「国際代理店・販売店契約のポイント」(6月30日)

- 《内容》国際代理店・販売店契約の条項と落とし穴
- 《項目》
- 国際販売代理店・販売特約店とは
 - 代理店と販売特約店
 - 代理店契約と販売特約店契約
 - 独占的と非独占的代理店・販売店
 - 代理店・販売店の義務
 - 商標、ロゴ等のライセンス
 - 代理店保護法とは
 - 独占禁止法上の規制内容ほか

第7回「ライセンス契約の概要」(7月6日) (講師:高田)

- 《内容》ライセンス契約の種類とライセンス契約全般に共通する条項
- 《項目》
- ライセンス契約の種類
 - ライセンス契約の基本構造
 - ・ライセンスの許諾
 - ・許諾の対価
 - ・ライセンス関係の解消など
 - ・ライセンサーの義務/ライセンシーの義務
 - 留意すべき条項
 - 技術ライセンス契約と競争法

第8回「特許とライセンス」(7月13日) (講師:杉江)

- 《内容》特許及び特許に関するライセンス契約
- 《項目》
- 世界の特許法の概要
 - ・特許に関する条約
 - ・特許の実質的要件 (日米欧)
 - ・職務発明
 - ・外国出願のルート (国際出願)
 - 英文特許ライセンス
 - ・定義条項
 - ・ライセンスの許諾条項
 - ・ライセンスの登録
 - ・ライセンス料及びその支払い
 - ・ライセンス料の報告・監査権
 - ・第三者による侵害に対する措置
 - ・その他 (補償、保証、責任の制限、保険、秘密保持、契約期間、政府承認、契約解除、一般条項)

第9回 (7月20日)「事業提携に関する契約のポイント」

(講師:宮田)

- 《内容》事業提携に関する契約
- 《項目》
- 事業提携戦略と事業提携契約のポイント
 - ・事業提携戦略、事業提携の形成
 - ・事業提携の構造、事業提携の運営ポリシー
 - ・事業提携の管理、事業提携の解消
 - ・競争法による規制
 - 資本参加契約のポイント
 - 生産委託契約のポイント

第10回 (7月27日)「著作権とライセンス」(講師:林)

- 《内容》著作権と著作権に関するライセンス
- 《項目》
- 著作権制度と国際的保護
 - 日米著作権制度の比較
 - ・著作権登録制度
 - ・職務著作
 - ・著作権の移転など
 - 映像コンテンツの国際ライセンス契約
 - ・前提条件
 - ・許諾期間・言語・メディア
 - ・ホールバック
 - ・対価
 - ・表明保証など

第11回「企業買収に関する契約のポイント」(8月3日)

(講師:増田)

- 《内容》株式譲渡契約を中心に企業買収に関する契約の条項と落とし穴
- 《項目》
- M&A プロセス
 - 価格
 - コベナント
 - 契約解除
 - 一般条項
 - 株式譲渡契約の構造
 - 表明保証
 - 前提条件
 - 補償、その他の救済方法
 - M&A と競争法

(この日は金曜日)

第12回「合弁契約書のポイント」(8月25日) (講師:阿部)

- 《内容》合弁契約及びこれに関連する契約の条項と落とし穴
- 《項目》
- 合弁契約と各種の関連契約
 - ・資金調達 ・原料調達 ・製品販売
 - ・知的財産権 (ライセンス・技術援助)
 - ・その他
 - 合弁会社の意思決定
 - ・株主総会
 - ・取締役
 - ・拒否権
 - 合弁会社からの撤退
 - ・デッドロック
 - ・各種のオプション条項
 - ・解散・清算
 - その他の留意事項
 - ・企業結合規制
 - ・会計・税務・労務問題

第13回「国際紛争とその対応」(8月31日) (講師:河村)

- 《内容》国際的な紛争を中心に訴訟制度や具体的な対応策
- 《項目》
- 国際紛争の時間軸
 - 具体事例の概要
 - ・物品売買、集団訴訟、知財)
 - 警告書への対応
 - 提訴と訴状送達プロセスの注意点
 - 日米訴訟手続の相違 (送達、ディスカバリー、陪審制度等) と具体的な対応
 - まとめ

G B L 国際法務研修基礎セミナーの目的

企業法務の担当者の中でも、とりわけ法務の担当者を育てるには長い期間を要し、大変なコストがかかります。どの会社も苦労しているのが実状ではないでしょうか。企業法務に関する長年の実務経験と実践的な研究に基づいて、GBL 法務研修基礎セミナーは、法務を担当するに必要な法的基礎を身に付けることができるように体系的に組み立てられています。

これから法務を担当しようとする方、本格的に法務に取り組みたい方、さらに法務担当の管理職や責任者として法務に関する知識を体系的に整理したい方などにとっては見逃すことのできない内容の基礎講座を提供します。

G B L 国際法務研修基礎セミナーの特徴

- 講師陣は、法務の経験豊かで、各分野に精通した研究者、弁護士、実務家であり、実務と理論の架橋を目指します。
- 判例や事例の分析、ドラフティング演習などを織り交ぜ、双方向の授業を行います。
- ホームワークやインターネットによる 質疑応答 の機会をつくります。
- 希望者には 到達度を認定し、全コース4分の3以上の参加者には修了の認定を行います。